

図 書 館 だ よ り

目 次

アンナ・アマーリア公妃図書館炎上す	
——西山 力也	1
福田陸太郎先生のご逝去を悼む	
——ソーントン不破直子	2
WebOPACリニューアルのお知らせ	
——大沼 真美	4
図書館学関連のビデオ資料一覧	6
日本女子大学図書館友の会第41回・	
平成18年度総会開催される	7
図書館からのお知らせ	8



昼下りの閲覧室（目白）

アンナ・アマーリア公妃図書館炎上す

西山 力也

あつてはならぬ事なのだが、図書館に火災は付き物、本学でも1906年建設の最初の図書館が1914年4月講堂になっていた階下から出火、消火で蔵書の大部分が水浸しになる損害を被った。ドイツでは、2004年9月2日ヴァイマル市に発生したアンナ・アマーリア公妃図書館の大火災が記憶に生々しい。私は耳を疑い、一瞬、“テロ？”と思った。折しも同市出張が決まっていた私は到着後すぐ現場に直行、すでに工事用ビニールシートに覆われた建物の前で立ち尽くした。何分にもドイツ古典研究の総本山、1996年在外研修の際、毎日通った思い出があるだけに、喪失感は大かった。

アンナ・アマーリア公妃図書館。名前の主はフリードリヒ大王の姪。17歳で興入れた彼女は夫の夭逝後、嗣子カール・アウグストの摂政となって負債にあえぐ小国を統治し、その首都、小邑ヴァイマルを、ゲーテ、シラーなど多くの文人・芸術家の集まる“ミューズの苑”に変貌させた才女である。文芸を愛した彼女は図書館整備に力を注ぎ、やがてゲーテが総監督官となって充実させ、彼が亡くなる1832年時の蔵書数約14万冊は、ドイツ諸侯の図書館のうちでも最大級であった。

被害の概要は、蔵書数100万冊のうち5万冊が焼失、6万2千冊が火と水により損傷。この数は全蔵書の約一割、しかも1850年以前の全書籍の5分の2である。水浸しになった書籍は即ラップされてライプツィヒの書籍保存センターに搬送、凍結乾燥（-20℃）されたが、今後一冊ずつ水分を蒸発させ修復したのち、蔵書目録と照合される。それは、10年以上もかかる難業といわれる。

同図書館はユネスコの世界遺産「古典ヴァイマル」に含まれる。特にRokokosaal（ロココの間）と呼ばれる回廊付き吹ききの広間は、まさに18世紀後半の造形美術、建築術、書籍出版が見事に共生・調和する空間、それ自体が稀有な芸術品であった。2～4階と貫通する構造のうち4階と火元（漏電）の屋階が焼失、皮肉にもここに所蔵されていたのが、16～18世紀の書籍5万冊、肖像画35点のほか、作曲を手がけた公妃の自筆楽譜類など、古典研究にとって貴重なものばかりであった。

被害総額は約6700万ユーロ。「Hilfe für Anna Amalia!」を合言葉に全ドイツ市民が立ち上がり、また世界中から支援が寄せられて、現在復旧工事が進められている。不幸中の幸い、ルター訳聖書の初版本は館長クノッヘ氏の決死の勇により救出された。また、昨年、地下道で繋がる同図書館新館が開館した。なお、悲運に見舞われたRokokosaalは、2007年公妃の没後200年祭に再びオープンする予定である。詳細は次へ⇒<http://www.weimar-klassik.de/de/haab>

（図書館長・史学科教授）

福田陸太郎先生のご逝去を悼む

ソートン不破直子

もと本学英文学科教授で図書館長を務められ、図書館友の会、上代平和文庫などにも力を尽くされた福田陸太郎先生は、2006年2月4日早朝、急逝された。4日後に90歳を迎えられることになっており、今年の年賀状には「私こと今年卒寿になるのを機に、来年から年賀を欠礼することをお許しください」と自筆で添え書きがあった。その日もご自分で救急車を呼ばれ、家の戸締りをすっきりして、病院へ運ばれたようだ。いかにも先生らしいご最期だった。

1949年に文部省から3年間フランスに派遣され、ソルボンヌで比較文学を専攻し、帰国後は筑波大の前身である東京教育大学助教授として英米の文学と比較文学を講じられた。その後、日本ペンクラブ副会長、国際比較文学会副会長、近代語学文学国際連合会長、日本比較文学会長、日豪ニュージージーランド教育文化学会創立者・会長などを歴任し、いわば文学研究の国際化を推進する「日本の顔」であった。比較文学に関する御著書『西洋の影の中で—比較文学論考』、『文学と風土』、『比較文学の諸相』なども、何か一人の作家、分野に集中するというよりも、「国境を越えた文学を研究するとはどういうことか」を考える内容が多い。

さらにアメリカの現代詩の紹介と翻訳にも努められ、多くの訳詩集を出された。中でも『世界名詩集大成—アメリカ編』(1959年 平凡社)は、半世紀を経た今見ると、その先見に心打たれる。当時日本ではほとんど知られていなかった(今では米文学史上に輝く)新進詩人たちの詩を、彼らの英語そのままに平易な日常語で訳してある。そしてご自身も感傷性のない乾いた言葉で多くのすばらしい詩を書かれ、『海泡石』、『ある晴れた日に』、『いくたびか夏過ぎて』、『カイバル峠往還』などの詩集を出された。

福田先生は東京教育大ご退職後の1977年に本学英文学科教授となられた。私事で恐縮だが、そのずっと前、先生が日本女子大学に非常勤講師としておいでになった年に、私は学部での3年生だった。アメリカの大学でアメリカ人にアメリカの現代詩を講じてきたという、はつらつとした少壮学者の講義は、外国文学の研究は現地の研究者には適わないんだ、という私たちの劣等感を吹き飛ばした。また、日本人は日本との比較で外国文学を論じてこそ独創性が出る、などという姿勢も先生にはなかった。先生は世界の文学をただ文学として読んだ。Internationalという言葉が、あくまでも国境を意識した言葉であることを考えると、福田先生はただ地球の大地があるだけの global という言葉を、当時から生きておられた。

先生と最後にお会いしたのは昨年夏の恒例の夏爐の会だった。これは、日本女子大の先生の教え子で研究者になっている者が先生を囲む会だった。これを勉強会とか仕事の企画会にしない、「夏爐冬扇のごときもの」とすることが、先生の美学だった。石川県羽咋の中学校時代は片道5キロの道を徒歩通学したという先生は、いつも大きなバッグを肩に引っ掛けて、すたすたと歩いて来られた。食事や話がひとしきりすると、先生はそのバッグから、まるでドラえもんのポケットのように、いろいろなものを取り出すのだった。「これあなたが調べていたことでしょう。コピーしておきましたよ」とか、「これ外国の名前をどうカタカナ書きするか、という面白い辞書ですよ。翻訳のときに役に立ちますよ」とか、「これ僕が書いた、うちの電気掃除機に寄せたソネットですよ」といった具合だった。私たちが大喜びでそれを見せ合っていると、「じゃあ僕は先に失礼しますよ。皆さん構わないでゆっくりしてくださいね」と、私たちだけの語らいを続けさせたいかのように、いつもずっと部屋を出て行かれた。

先生の訃報が入った時、私には先生がああショルダー・バッグを肩に、「じゃあ僕は先に失礼しますよ」とすたすたと冥府に旅立つ後ろ姿が見えるようだった。私たちはもう少しこの地上にゆっくりして、学生たちに先生が教えてくださったことを伝えていこう。

(英文学科教授)



写真の説明

平成6年5月7日（土）桜楓2号館会議室で開催された、歴代館長（福田陸太郎、青山吉信、徳末愛子、佐藤進、石川松太郎各先生）座談会で歓談される福田先生。

福田陸太郎先生 日本女子大学における経歴

昭和38年4月～昭和52年3月

日本女子大学非常勤講師

昭和52年4月 文学部英文学科教授に就任

昭和55年4月～昭和59年3月

図書館長を歴任

昭和55年4月～平成17年3月

日本文学大学図書館友の会上代タノ

平和文庫運営委員

昭和59年3月 日本女子大学を定年退職

昭和59年4月～平成17年3月

日本女子大学図書館友の会顧問

「日本女子大学図書館だより」福田陸太郎先生寄稿文献

アンソロジーのすすめ No.43 1980.5 p1

偶感 No.44 1980.9 p1

孤独と交友 No.45 1980.12 p1

図書館は探検の場所 No.47 1981.3 p2

タゴール生誕120年 No.48 1981.6 p1～2

大英博物館界限 No.49 1981.10 p1～2

研究室の窓から No.50 1982.2 p5

信濃川静かに流れよ No.53 1982.9 p1～2

匂いのいろいろ No.54 1982.12 p1

上代先生愛蔵本の一冊 No.56 1983.3 p1

当世流行のイラストやカラー化に物申す No.57 1983.6 p1

ヴェネズエラの詩 No.59 1983.12 p1

君よ知るや南の国 No.60 1984.3 p1

心やすらぐ研究の場所 No.61 1984.10 p2

シリーズ・平和文庫の窓（2）上代平和文庫異色の3冊 No.68 1987.3 p4

感謝と要望 No.100 1997.12 p11

「日本女子大学図書館だより」福田陸太郎先生関係文献

〈座談会〉図書館、この30年、そして No.90 1994.6 p3～19 *歴代館長座談会

福田陸太郎氏の偉容 ―著作集刊行によせて―（新井 明） No.106 1999.11 p5

「日本女子大学図書館友の会 会報」福田陸太郎先生寄稿文献

略語恐怖症 No.36 1980.12 p1～3

「比較文学講座」について No.38 1981.6 p7

プロとアマ No.108 2004.12 p1～3

（館員 田口令子）

WebOPACリニューアルのお知らせ

2006年4月より、日本女子大学図書館ホームページ (<http://www.lib.jwu.ac.jp>) の蔵書検索プログラムが新しくなりました。よりシンプルに、より使いやすい画面に改善いたしました。

資料を探す際のパートナーとして、ぜひ有効にご利用ください。

< 検索画面のご紹介 >

図書館のホームページより「蔵書検索」をクリックすると次の画面になります。

検索語の「フリーワード」では、書名・副書名・著者名・出版社などに含まれる語から検索ができます。入力する語（キーワード）は、単語（例：少子、少子化）、連語（例：少子化社会）を問いません。

また、いくつかの語を含む資料を探したい場合は、以下のように、語の間にスペースを入れてください。

このようにキーワードをいくつか入れることで、希望する内容の資料へ確実にアクセスすることができます。

もう少し検索の条件を絞り込みたい時は、検索語の右横の「▼」をクリックしてください。

プルダウンメニューから、検索語の対象を限定することができます。（書名のみ、または著者名のみから検索など）また、検索語をもっと増やしたい場合は、「検索フィールドを **増やす**」をクリックしてください。

プルダウンメニューの選び方や入力のしかたがわからない場合は、「[ヘルプ](#)」をご覧ください。

図書館学関連のビデオ資料一覧 図書館所蔵分 (2006年5月現在)

タイトル (著者名等/出版社)	所 蔵
図書館の達人 (日本図書館協会企画監修/紀伊国屋書店) (1)図書館の機能 (2)文献探索の基礎 (3)雑誌記事の調べ方	目・西
図書館の達人—PART 2— (日本図書館協会企画監修/紀伊国屋書店) (4)人名情報の探し方 (5)データベース検索入門 (6)レポート・論文のまとめ方	目・西
図書館の達人 (司書実務編) (日本図書館協会企画監修/紀伊国屋書店) (1)レファレンスサービス (2)コミュニケーション (3)ブックトーク	目・西
図書館の達人 (司書実務編 Part 2) (日本図書館協会企画監修/紀伊国屋書店) (4)機能する目録づくり (5)くらしに活きるレファレンス (6)広がる図書館協力と連携	目
図書館の達人 (司書実務編 Part 3) (日本図書館協会企画監修/紀伊国屋書店) (7)ある図書館長的一天: 市町村立図書館経営の実例 (8)新しい文化の創造をめざして: 望まれる多文化教育 (9)子どもと本と図書館と: 児童図書館員の専門性	目
新・図書館の達人 (日本図書館協会ほか監修/紀伊国屋書店) (1)情報基地への招待: 図書館は世界へ開かれた窓 (2)文献探索法の基礎: 情報の海で溺れないために (3)情報検索入門: デジタル世界への旅立ち (4)情報整理法の第一歩 (5)情報表現法の基本 (6)レポート・論文作成法	目・西
国立国会図書館 (日本図書館協会企画監修/紀伊国屋書店) (1)機能と役割 (2)所蔵資料 (別巻) 利用案内	目・西
史料管理の達人 (広瀬順昭企画構成/紀伊国屋書店) (1)史料管理の歴史と現在 (2)これからの史料管理 (3)さまざまな史料管理	目
利用のための資料保存 (日本図書館協会企画監修/紀伊国屋書店) (1 概説編) 資料の敵を知り、対策を練る (2 実践編) 計画を具体化する	目
法学文献の調べ方 (法律図書館連絡会企画監修製作/法律図書館連絡会)	目
司書教諭の役割: 新しい教育の創造へ向けて (全国学校図書館協議会企画製作/紀伊国屋書店)	目・西
図書館員のための英会話 (日本図書館協会企画監修/紀伊国屋書店) (基礎編) (応用編)	目・西
BOOK TV 大学書物5000年 (高宮利行監修・大日本印刷制作/丸善) (1)グーテンベルク42行聖書 (2)様々な書写材料 (3)写本: 究極のカスタムメイド (4)東西印刷物のあけぼの (5)洋書のかたちと慣習 (6)挿絵とテキスト (7)世界の書店・古書店 (8)読書の歴史をたどる (9)書物蒐集の魅力 (10)音読と黙読 (11)プライベート・プレス之美 (12)図書館はどう変わるか (13)書物の行方	目
図書館へ行こう! (紀伊国屋書店企画・日本図書館協会監修/紀伊国屋書店) (1)子どもと歩く散歩道 (2)知りたいの味方 (3)わが社のデータベース! (4)本のある風景 (5)先生たちの本棚	目
書誌学 —'99 (放送大学学園放送教育開発センター制作/放送大学教育振興会) (1)書誌学への扉 (2)書籍の形状と料紙 (3)書籍の取扱いと保存・修補 (4)平仮名の読み方・1 (5)平仮名の読み方・2 (6)仮名文の読み方 (7)漢字の読み方・1 (8)漢字の読み方・2 (9)漢文の読み方 (10)訓点資料と片仮名文 (11)書誌と文書 (12)辞書の利用 (13)書写の経緯 (14)古筆 (15)出版と書籍	西

※図書館の資料にはすべて請求記号が付けられています。一覧のビデオ資料には“VT”という請求記号が一律に付けられ、さらに番号が付けられています。

例. 目白の場合「図書館の達人(1) 図書館の機能」の請求記号は“VT-13”

ただし、同じタイトルでも目白図書館と西生田図書館とは請求記号が異なる場合があります。

それぞれの図書館で直接ご確認ください。

※一覧のビデオ資料は図書館内の施設を利用してごらんになることができますが貸出はできません。

※4～5 ページの「Web-OPACリニューアルのお知らせ」を見ながら、上のリストからタイトルを一つ選んで検索をしてみましょう。

日本女子大学図書館友の会第41回・平成18年度総会開催される

目白の図書館5階東側の一画に上代タノ平和文庫がある。1971（昭和46年）年に本学の第6代学長上代タノ先生が、「女性が国際平和について問題意識を明確に持ち、平和への推進力となることを念願して」寄贈され創設されたもので、以来、図書館友の会の活動として、国際関係、世界の国々及び日本の政治、現代史、思想、文化など、平和問題に関する広範囲にわたる書籍が継続収集されている。文庫の書籍群からは、普遍的な上代先生のご遺志を感じ取ることができ、特別な想いを喚起させられる場所である。一般図書と同様に貸出利用も可能である。

日本女子大学図書館友の会は、上代タノ先生により1965（昭和40）年に創設された。先生がアメリカでの研究活動の際にスミスカレッジにおける図書館友の会と図書館との関係に感銘を受けられたことが原点とされる。友の会の目的は、大学図書館の充実発展に寄与すると同時に、大学図書館とのつながりにおいて会員それぞれの前進向上をはかることとされ、本学教職員、旧教職員、卒業生、在学生及び卒業生の父母、その他一般の方々で構成される421名（平成17年度現在）の会員が活動を行っている。



挨拶をされる後藤祥子会長

芽吹きの時を過ぎ、木々の緑が深みを増し始めた5月17日（水）午後、目白キャンパス百年館504会議室で、図書館友の会第41回・平成18年度総会が開催された。はじめに友の会会長である後藤祥子学長より、続いて4月に就任された西山力也新図書館長より挨拶があった。

議事に入り、平成17年度事業報告として、本学図書館への図書購入援助、講座・読書会「説話の宇宙」等5コースの開催、研修会「初夏の美術館めぐり」等の実施（年3回）、友の会会報の発行等について報告があった。上代タノ平和文庫報告では、継続発展する文庫、ニーズに合った文庫として平和文庫運営委員による選書を続け、平成17年度は117冊を新規収集、蔵書数は7,267冊となったと報告があった。平和文庫の選書を担当されている平和文庫運営委員の紹介があり、長く運営委員をつとめられ本年2月に逝去された福田陸太郎先生への弔意が述べられた。卒業生著作調査報告では、調査開始は39年前であり、『日本女子大学卒業生著作目録』の追補Xを本日配布するとの報告があった。平成17年度収支決算報告、監査報告、引き続き平成18年度事業計画案、予算案の説明があり、いずれも拍手をもって承認された。

議事終了後、田口情報受入課長より平成17年度図書館報告があった。大学評価において図書館の一般公開が問われる中で図書館友の会の存在が評価されていると報告があった。



講演会 講師出淵敬子先生

た講演の余韻が残る中、本年度総会が滞りなく終了した。

（中曽根記）

* 図書館友の会事務室：目白の図書館5階。入会等お問い合わせは、電話03-5981-3183（月～金 10時～4時）



図書館からのお知らせ



図書館用鍵付き傘立ての利用について

図書館では利用者の方々の便宜を考えて、目白図書館・西生田図書館ともに、鍵付き傘立てを入口に設置しています。

これらの傘立てについて、鍵がないところが多くあるとのご指摘を受けて、この度その補充などの対策を講じました。

ところで鍵がない状態となる原因は、利用者の方が傘を置き忘れたまま帰られ、鍵も返却されないためです。図書館で鍵を補充することは可能ですが、補充までに一定の期間を経ないと、前の利用者が再度鍵を開けることが考えられ、即刻鍵を補充することはできません。結果として、鍵のない箇所が増えていきます。

利用者の皆様が要望された鍵付き傘立てを、今後も維持するために、鍵をかけた傘は、図書館退出時には、必ず持ち帰るということを徹底するようにいたしましょう。

意見箱の設置について

図書館では、平成18年1月より意見箱を設置しています。日頃抱いている図書館に対する疑問、意見、感想など、利用者みなさんの声をお聞かせください。意見箱は、目白図書館では2階OPACコーナーそばに、西生田図書館では2階ブラウジングコーナーに、用紙と一緒にあります。

寄せられた声には、図書館長以下図書館スタッフ全員で、投稿された方の納得のいくお答えをお出できるように、吟味・検討いたします。回答は、投稿された利用者本人に、さらに必要であれば、利用者の皆さんにもお出ししていきます。些細なことでもかまいませんので、どしどしお寄せください。

個人情報に対する図書館の取り組みについて

図書館で管理している個人情報は、利用者の住所といった登録情報の他に、貸出情報があります。どちらも大切な情報ですので、図書館での利用登録などの事務手続きや、ご本人の申し出による登録情報や貸出情報の照会のために取り扱う以外には、開示されることは決してありません。それに限らず、図書館と利用者本人以外の第三者に開示されることもありません。

このことは、個人情報保護法施行以前から図書館では厳守されています。

なお、学校法人日本女子大学における個人情報保護への取り組みについては、大学のホームページに掲載するとともに、全学で必要な措置を講じるよう努めております。



◎訂正◎ 前号（第125号）5ページ22行目：執筆者の肩書きに誤りがありましたので、訂正いたします。

英文学研究科・1年次院生（誤）→文学研究科英文学専攻・博士課程前期1年次学生（正）

編集後記 福田陸太郎先生と食堂車。図書館長時代、福田先生は全国図書館大会に参加された。福井市での開催の年、館長以下参加者4名は今では珍しくなった食堂車で一緒にお食事をしながら道程を進めた。高尚な思い出でなく恐縮だが忘れぬひとときであった。先生はご退官後も図書館をよくご利用くださり、そのお姿には力を与え続けていただいた。合掌。追悼の原稿をご執筆いただいたソートン不破直子先生には心よりお礼申し上げます。今号より、西山力也新図書館長の巻頭言が始まった。13年間図書館だよりの編集・発行をされた田口課長より編集委員を引き継いだ。前任者たちの熱い想いを受けつぎ、図書館だよりが学生・教職員等と図書館とのコミュニケーションの場となり、より良き図書館作りに役立つよう編集委員一同努めてまいります。図書館だより編集委員：中曽根緑、鈴木学、大沼真美（中曽根）